

2009年11月5日

環境配慮型の高品質な合板であることを保証、「きこりん品質」
住友林業 「KIKORIN(きこりん)－PLYWOOD(プライウッド)」販売開始
～売上の一部をインドネシアでの環境植林事業へ―荒廃地の復興へ貢献―

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区大手町1丁目3番2号）は、FSC（Forest Stewardship Council：森林管理協議会）やPEFC（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes：森林認証プログラム）の認証材を使用した合板、及びインドネシア等で植林、育成された木材が材積の50%以上を占める環境配慮型合板の新商品「KIKORIN-PLYWOOD（きこりんプライウッド）」（以下、本商品）を平成21年11月より販売しますので、お知らせ致します。

■ 特長

本商品は、FSC認証、及びPEFC認証を受けた森林から伐り出された木材を原材料とする合板、またはインドネシアの当社関係会社PT.Kutai Timber Indonesia（クタイ・ティンバー・インドネシア社 社長：大野 貴章 以下、KTI社）等が植林、育成した持続的生産が可能なファルカタ等の木材を原材料として材積の50%以上に使用した合板の二種類からなっており、環境に配慮した木材を使用して、普通合板や構造用合板として製品化したものです。

本商品の製造は、KTI社のほか提携工場において厳格な品質管理と生産管理の下で行い、高品質と安定供給を保証しています。また、その販売については、北海道から九州までの主要港に輸入拠点を配置し、当社が全国で展開する支店と営業所が担当することで、日本国内の合板市場における当社のシェア拡大を狙います。

■ 住友林業グループの企業品質を表す「きこりん品質」

当社グループでは昨年来、自社製品をはじめ、企業理念や事業方針、人材そのもの等、住友林業グループの企業の品質を総括して「きこりん品質」として訴求しています。シンボルキャラクター「きこりん」の表示は、顧客ニーズに応える高い信用と信頼を得られる商品やサービスとして、「住友林業グループ」が責任を持つ品質を確保していることを表します。本商品は環境に配慮した原材料を採用し、かつ高品質な合板であることを訴求するため、今回、当社はシンボルキャラクター「きこりん」を出荷時に表示することを決定しました。今後は当社グループが扱う他の木材製品や木質製品への表示も検討してまいります。

■ 植林事業への貢献

本商品は環境に配慮した原材料を使用することに加え、その売上の一部を当社がインドネシアで実施している植林事業に投入します。その事業は、インドネシアの東ジャワ州にある山火事で荒廃し草原となったプロモ・トゥングル・スメル山国立公園への郷土樹種の植林事業、及び国立公園等の保護林以外の荒廃地への郷土樹種やファルカタ、グメリナ等の植林事業を対象とします。また、プロモ・トゥングル・スメル山国立公園の植林地では植林事業とともに動植物の生物多様性のモニタリングを行い、今後の生物多様性の推移と保全の方向性も明らかにしていく予定です。

保護林以外での植林地では将来的に伐採、再植林することで、地域社会に雇用と木材販売による収入をもたらす、さらにその木材を用いた地域住民自らによる木材加工業等によって地域振興も可能となります。またその収益の一部を再植林に当てることで持続可能な森林経営へと導くことができます。

当社ではこのような植林事業に全社的に取り組んでおり、ユーザー各社においては本商品を購入することにより、インドネシアの森林再生や生物多様性保全等、環境保全と地域住民の経済発展に寄与することにつながります。

《お問合せ先》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 松家、大屋

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272